

ニューキリンジャッキ取り扱い説明書 (挿入ジャッキと手動ポンプ)

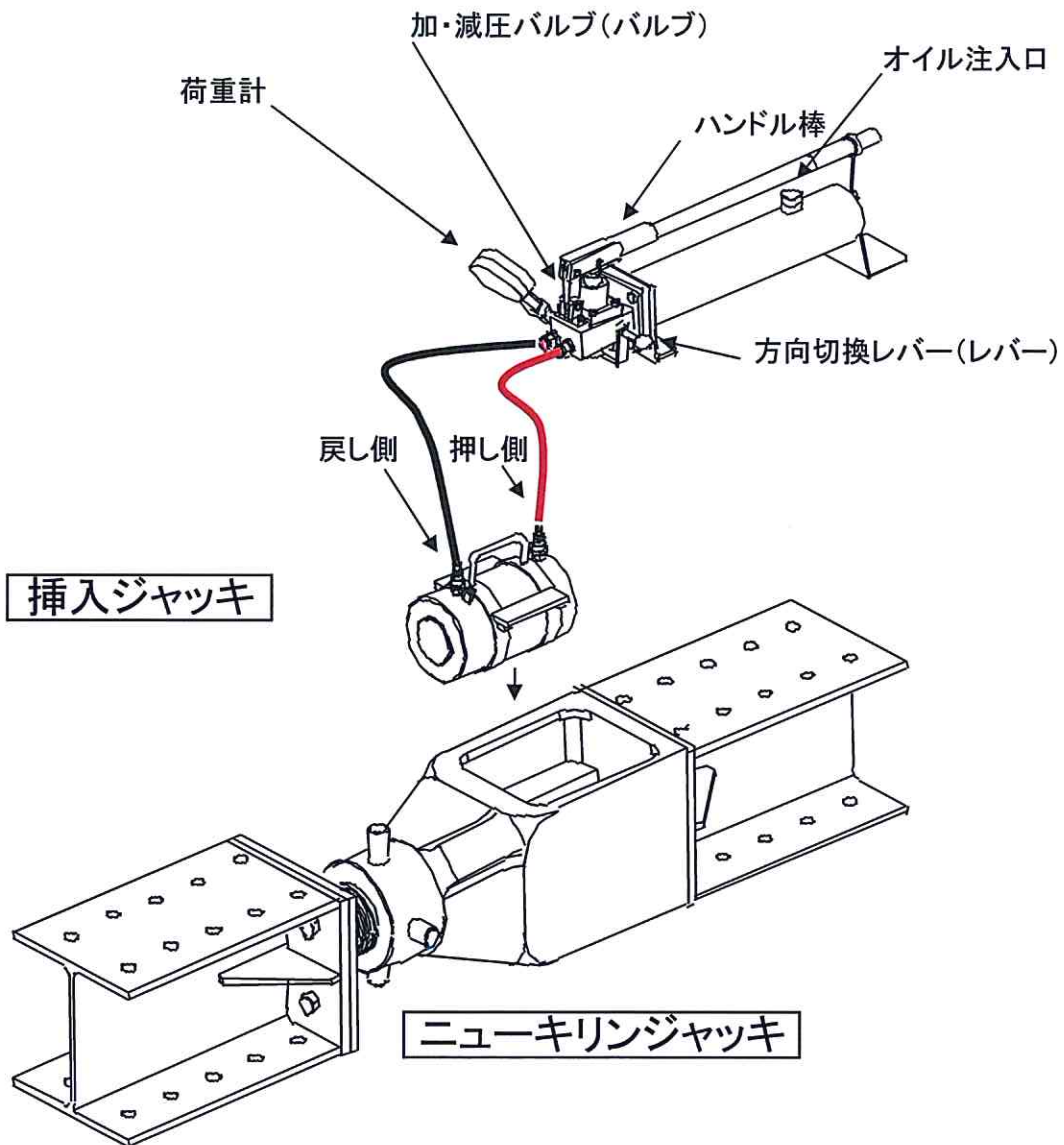


光洋工業株式会社

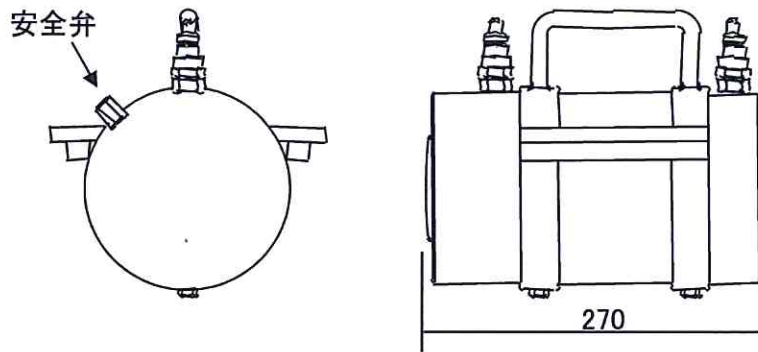
東京都墨田区江東橋1-12-8 KDビル4F
TEL 03-3634-3411

各部の名称

手動ポンプ



挿入ジャッキ外観図



使用出来る、ニューキリンジャッキサイズ 300H・350H・400H

挿入ジャッキ仕様一覧表

最大出力	1200kN
ストローク	155mm
寸 法	外径Φ155*全長270mm
受圧面積	113.0cm ²
質 量	22.0kg

手動ポンプで挿入ジャッキを、1cm伸ばす為にハンドル棒を漕ぐ回数

低圧時（無負荷状態） 6回

高圧時（負荷状態） 81回

※ 手動ポンプの低圧、高圧切り換えは、内部にて自動的に行われます。

※ 加圧、及び減圧時に 急いでハンドル棒を漕ぐ と安全弁より油が吹き出す場合がありますので注意して下さい。（図参照）

※ 夏場など、直射日光下で挿入ジャッキが熱くなり、高圧ホースがうまく接続出来ない場合は、別紙挿入ジャッキ内圧抜き方法を参照の上、内圧を抜いて下さい。

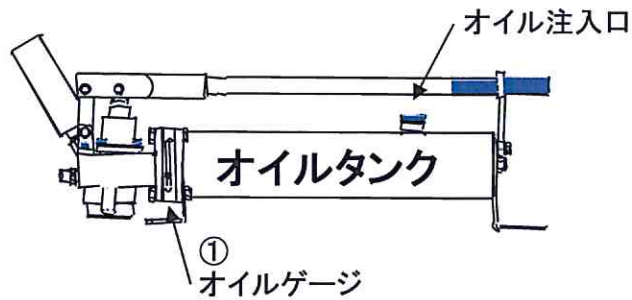
※ 付属の座板は、ニューキリンジャッキのストロークが伸びている場合に使用する事で、ポンプの漕ぐ回数を減らす事が出来ます。

使用油について

油圧作動油 #32～#46

メーカーは問いません。

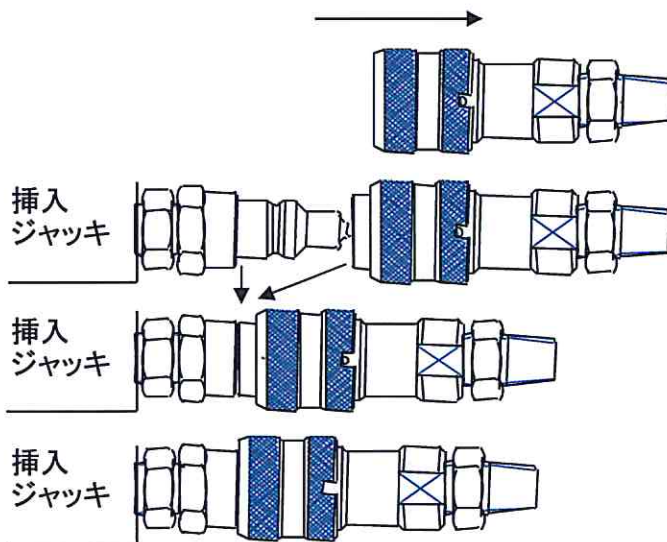
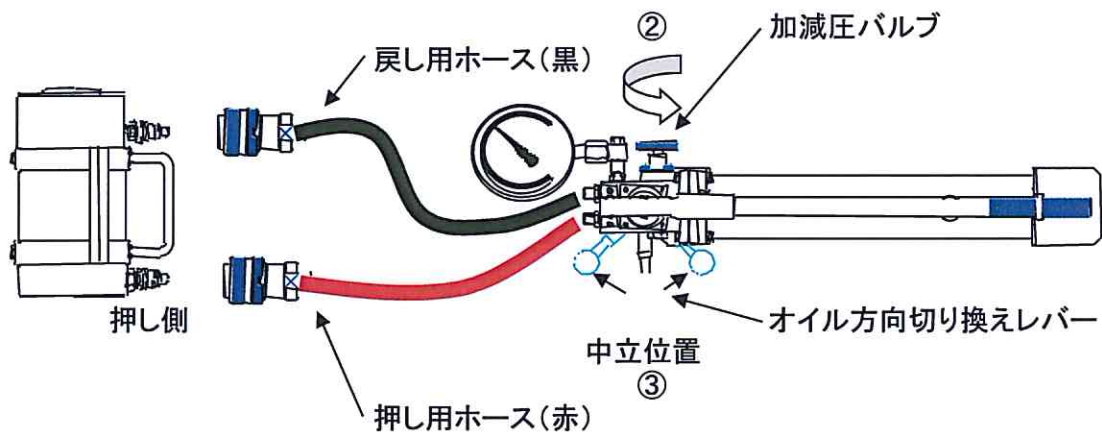
挿入ジャッキと手動ポンプの接続方法



接続前に

- ① オイルの確認
- ② 加減圧バルブを開ける (左回し)
- ③ 切り換えレバーを中立位置にする

接続図



ポッチと切れ込みを
合わせて
指で引張ながら

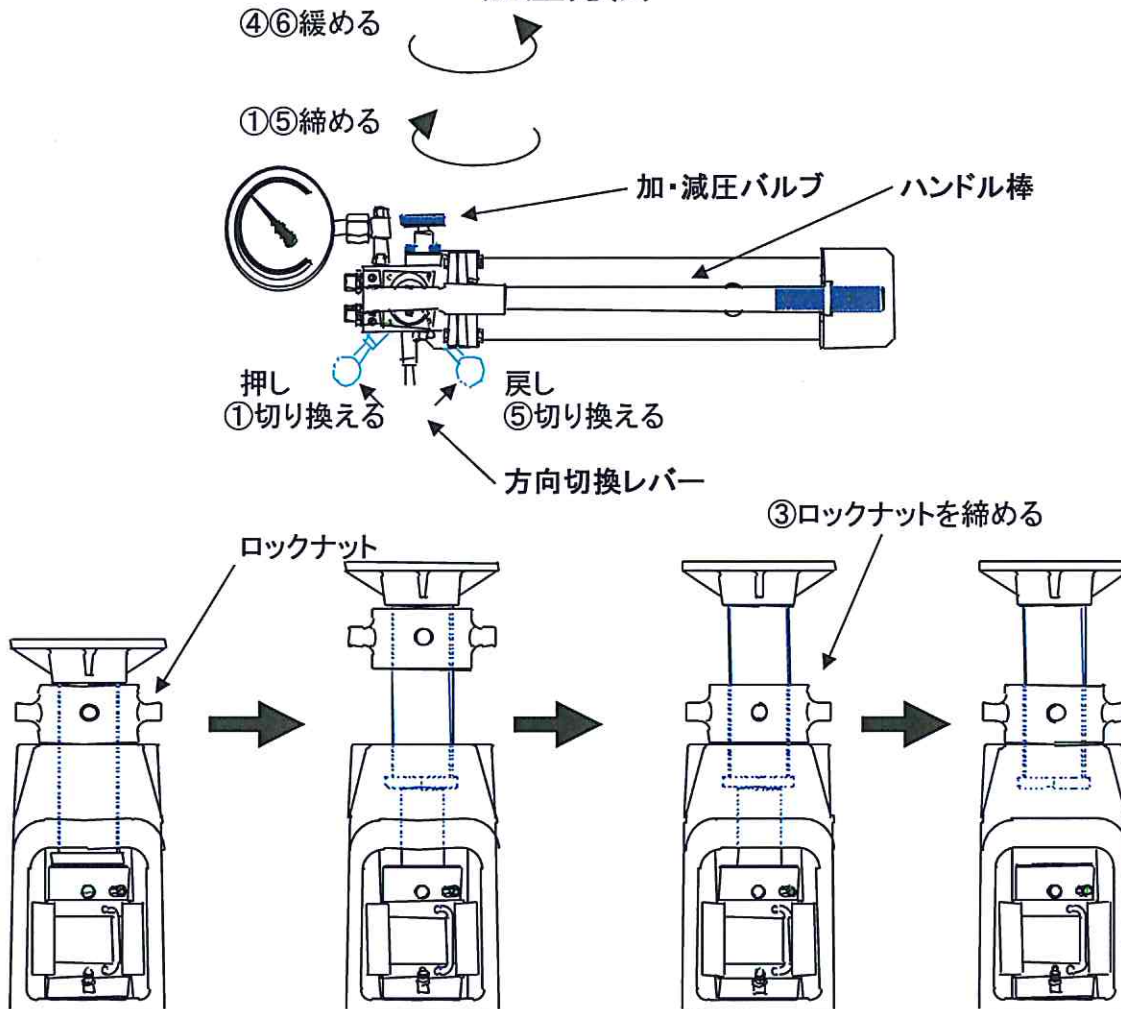
面が合うまで押し込み

指を放し90° 回す

使用方法・1

ニューキリンジャッキ（挿入ジャッキ）

加圧方法



- ① 方向切換レバー（以下レバー）を押しに切換え、加・減圧バルブ（バルブ）を右回しに締める。
- ② 希望圧まで、ハンドル棒を上下させ加圧する。
- ③ 加圧後、ニューキリンジャッキのロックナットを締める。
- ④ 加・減圧バルブを ゆっくり と左回しに緩めて、0 荷重にする。
- ⑤ レバーを戻しに切り換え、バルブを右回しに締める。
- ⑥ 挿入ジャッキのピストンを戻し、バルブを緩める。

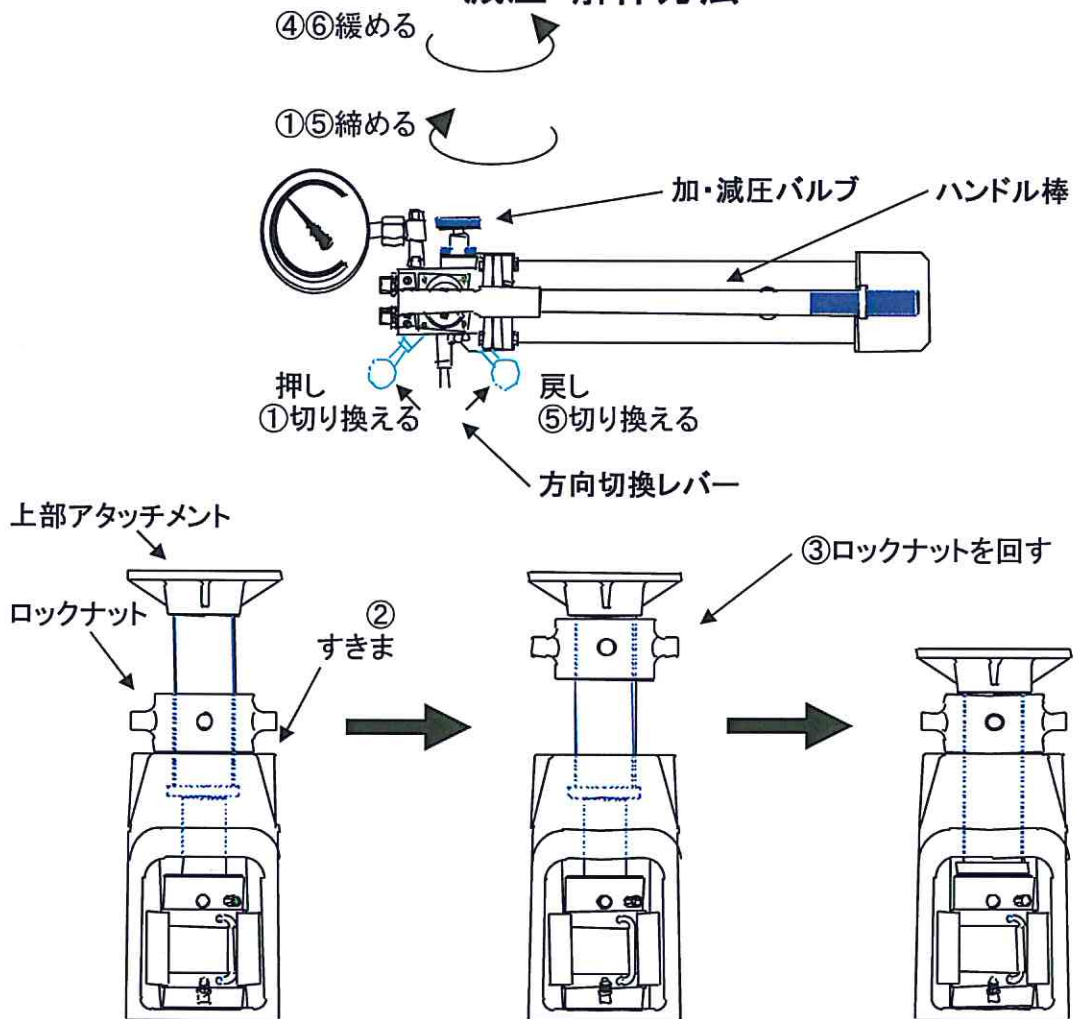
注意

- ※ 高圧ホースは2本共（押し・戻し）接続して使用する。
- ※ 荷重計が 0 以外では、方向切換レバーを絶対に切り換えしないで下さい。

使用方法・2

ニューキリンジャッキ（挿入ジャッキ）

減圧・解体方法



- ① 方向切換レバー（以下レバー）を押しに切換え、加・減圧バルブ（バルブ）を右回しに締める。
- ② ロックナットと、本体ケースの間にすきまが出来るまで、ハンドル棒を上下させる。
- ③ ロックナットを上部アタッチメント方向へ回す。
- ④ 加・減圧バルブを ゆっくり と左回しに緩めて、0 荷重にする。
- ⑤ レバーを戻しに切り換え、バルブを右回しに締める。
- ⑥ 挿入ジャッキのピストンを戻し、バルブを緩める。

注意

- ※ 高圧ホースは2本共（押し・戻し）接続して使用する。
- ※ 荷重計が 0 以外では、方向切換レバーを絶対に切り換えないで下さい。